

今年は観客を入れ開催された「第4回映画のまち調布賞」授賞式

「映画のまち調布シネマフェスティバル2022」(通称:調布シネフェス)が2月11日(金・祝)から3月6日(日)まで、調布市文化会館たづくりやイオンシネマ シアタス調布などを会場として開催された。コロナ禍のため、昨年はほとんどのイベントが中止になったが、今年はコロナウイルス感染拡大防止策を徹底した上で市民投票の人気1位映画「花束みたいな恋をした」や人気上位の映画が上映された。調布の映画祭らしく、市民になじみの深い漫画家・水木しげるさん生誕100周年を記念して、シアタス調布ではセレクション作品『ゲゲゲの鬼太郎』第3期アニメ映画&テレビ上映もあった。

「映画のまち調布賞」は、主に映画をつくる技術スタッフ(撮影、照明、録音、美術、編集)を顕彰する映画賞で、映画の作り手から注目されている。その授賞式が2月26日(土)の午後5時からシアタス調布で220人の観客を入れて開催された。

作品賞としてパルコや調布駅前広場、多摩川などがロケ地となった「花束みたいな恋をした」が選ばれ、録音賞(授賞者は加藤大和氏)と撮影賞(同・鎌刈洋一氏)が同時受賞した。鎌刈氏は仙川に住み、深大寺や多摩川が大好きで「まだまだ撮影したい場所が数多くあります」と筆者に語っている。ぜひこれからも市内をロケ地とした映画を撮ってもらいたい。照明賞は「ヤクザと家族The Family」の平山達弥氏、美術賞は「るろうの剣心 最終賞TheBeginning」の橋本創氏、編集賞は「浅田家!」の上野聡一氏、功労賞は東映デジタルラボの根岸誠氏。根岸氏は調布で仕事を始めてから50年という技術者である。終了後に4月公開予定の「今はちょっと、ついてないだけ」が先行上映され、監督の柴山健次や主演の玉山鉄二などがゲストとして登場した。(大泉 清)

調布市が「第12回ロケーションジャパン大賞」でグランプリを受賞

ロケ地とグルメをテーマにして、地域をエンタメで応援する雑誌「ロケーションジャパン」が毎年実施する大賞で、今年調布市がグランプリを受賞した。映画「花束みたいな恋をした」は調布がロケ地となっており、ご当地感や話題性が評価された。都内ホテルでの授賞式には長友貴樹市長等が出席した。



画像提供:調布市

【授賞式の様子】

せんがわ劇場が地域ブランド向上に貢献。地域創造大賞(総務大臣賞)を受賞

せんがわ劇場は桐朋学園大学、同芸術短期大学、白百合女子大などの地域の大学及び仙川の商店街などと提携して演劇、音楽を中心とする事業に取り組み、地域ブランド向上に貢献した功績のある公立文化施設として授与された。



画像提供:調布市

【FC 東京応援記】

開幕後、複数の選手とスタッフが新型コロナウイルス感染症の陽性判定を受けた事にもない、チームは7日間の活動停止。2月23日ルヴァン初戦と26日ホーム開幕戦は延期となった。今シーズン初戦の川崎戦では6人がコロナで戦線離脱中も、新たに取り組むサッカーの片鱗を見せていただけに、チーム活動が途切れたのは残念。一から体を作り直すわけではないが、コンディションを整えるのに時間は暫くかかるだろう。逆に、このチームのピンチを自身のチャンスへと活かす選手が出てほしい。今年W杯イヤー。その道は世界へと続いているのだ。(日比生)

ちょびット

調布社協 インフォメーション No.7



市民活動支援センターは、「まちのえんがわになりたい」を合言葉に、様々なボランティア団体や NPO 法人などの支援や、周知・交流のためのイベントを開催しています。

また、市民の皆さんからの寄付や会費を原資とし「えんがわファンド」による活動資金助成とつながり作り、誰でも気軽に立ち寄れる居場所「えんがわ文庫」など、多様な取り組みを行っています。ぜひお気軽にご来館ください。



ホームページ

公式 Twitter

2022年3月 番組表



< 調布市民放送局の番組を見ることができます >

◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」で放送中！

調布 C A T C H J:COM 111chにて1日2回放送							
放送時間変更のお知らせ: 3/26(土) 17:25⇒20:55							
	月	火	水	木	金	土	日
テレビ番組	8:25	8:25	8:25	8:25	8:25	8:25	8:25
	17:25	17:25	17:25	17:25	17:25	17:25	17:25
1日	①開園60周年 都立神代植物公園 ~1961年10月20日開園~ 東京ドーム10個分に相当する広大な園内では早春の梅まつりを皮切りに、四季折々、様々なイベントが開催されます。外出もままならないコロナ禍が続いていますが、一足早いお花見をお楽しみください。						
15日	②リトルギャラリー 模型展 僕のプラモデル ~伊藤俊介~ 今回は戦車や戦闘機などまるで本物のようなプラモデル/作品展。色や質感、細部までこだわりを持って制作されたオリジナリティ溢れるプラモデルをどうぞお楽しみください。						
16日	①「映画のまち調布シネマフェスティバル2022」 イオンシネマ シアタス調布で「第4回 映画のまち調布賞」の授賞式が行われ、映画制作に関わる技術者、功労者が表彰されました。授賞式後、映画「今はちょっと、ついてないだけ」の監督と俳優さんによるトーク付き先行特別上映会が行われました。						
31日	②「調布映画地図展」~映画イラストレーターの宮崎祐治~ 調布市を7つのブロックに分けて、ゆかりの映画や俳優、建物などがイラストで飾られています。ガメラ映画監督として知られる金子修介(しゅうすけ)さんとのアーティストトークも開催されました。						

「調布わくわくステーション」(毎週月曜日、21時45分~22時00分)			
調布 FM:83.8MHz HP からは、インタビューの様子を映像でご覧いただけます。どうぞお楽しみに！			
月	放送日	内容	ご紹介
ラジオ	7日(放送)	宮本苑生の詩の世界	『佐相憲一詩集』から抜粋してお届けします。 朗読: 峯田里香子
	14日(再放送)	『佐相憲一詩集』詩の朗読	
	21日(再放送)	朗読「郷土の歴史と伝承」	今回は、昨年10月に放送した図書館だより「調布に伝わる不思議な話」「馬車の活躍した時代」の再放送です。朗読: あきのめぐみ
	28日(再放送)	調布市郷土博物館 関口宣明著	

新型コロナウイルスの影響で、家で過ごされている方、この機会に地域の情報を見ませんか！
インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。👉 調布市民放送局で検索

<http://chofu-catch.or.jp/> (公式HP)
 (すべての番組2015年~現在まで)

<http://chofu-catch.sakura.ne.jp/> (アーカイブサイト)
 (すべての番組2004年4月~2015年3月)

<https://www.facebook.com/chofubroadcast> (フェイスブック支局) (2015年~)

【公式HP】

【アーカイブサイト】

【フェイスブック支局】

**コロナ禍で巧みにATMに誘導
お金、ATMの電話は詐欺だ**

医療費や年金の還付金や払い戻しがあるという電話は詐欺。最近ではコロナ禍を口実に自宅に行けずとして、ATMに巧みに誘導して現金を振り込ませるケースも目立つ、調布警察署(電話042-488-0110)では「還付金はATMでは絶対に戻らない。ストップ・ザ・ATM前での電話と心掛け」と注意喚起。

**春の火災予防運動が始まる
もう一度 確認 安心 火の用心**

3月1日(火)から7日(月)まで、東京消防庁の春の火災予防運動が始まる。今回の標語は「もう一度 確認 安心 火の用心」(作者は菅野珠加さん・江戸川区在住)。調布消防署(電話042-486-0119)では「火災の多い季節。防火防災意識を高めて火災を防ぎましょう」と呼び掛け。